

< 口腔の役割 >

けんけつちゃん～献血が足りない!?!～

血液は、人間の生命を維持するために欠くことができないものであり、多くの方々の病気の治療や救命のために日々使われています。しかし血液は、科学が進歩した今日でも人工的に作る事ができないうえに、生きた細胞であるため長期保存が出来ません。わが国の血液は、健康な方々から無償で血液を提供して頂く献血でまかなわれ、医療の一部を支えています。輸血などに必要な血液を、いつでも十分に確保しておくためには、常に献血により補充していかなければなりません。



「チッチ」



左から「エイッチ」、「オータン」、「ビービー」、「エビリン」

けんけつちゃんは「献血」への協力を呼びかけるために「ハートの泉」が湧き出る小さな島「たすけアイランド」から派遣された愛の妖精です。

リーダーは「チッチ」、他の4人の仲間を応援するリーダーです。献血の宣伝係は「エイッチ」、A型の妖精でみんなをまとめるしっかりものです。献血の呼びかけ係は「オータン」、O型の妖精でいつも元気なムードメーカーです。献血の案内係は「ビービー」、B型の妖精でいつも素直ながんばりやさんです。献血のアフターケア係は「エビリン」、AB型の妖精でみんなにやさしいおっとりタイプです。



ご当地けんけつちゃん：群馬県は「だるま」です

けんけつちゃんの耳は、愛のしずく（血液）でできています。愛（献血の量）が足りないと耳が小さくなってしまふけれど、みんなが協力してくれると元気になります。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛で、全国的に献血量が不足しています。3月頃から献血者が減少し、緊急事態宣言による外出自粛や学校の休校、企業のテレワーク導入などで、献血バスを派遣しても協力者がいなかったり、派遣がキャンセルされるなどから、関東甲信越地方では7月時点で目標人数(400ミリリットル献血)である約10万人分に対し、実際に集まったのは約9万人分と、約1万人分が不足しています。けんけつちゃんもきっと困っているでしょう。

献血は不要不急の外出ではありません。ぜひ現状を知っていただき、1人でも多くの人の協力をお願いします。

(注意) 出血を伴う歯科治療（歯石除去を含む）に関しては、抜歯等により口腔内常在菌が血中に移行し、菌血症になる可能性があるため、治療後3日間は献血することはできません。



当院にも定期的に献血バスが派遣されます

(参考)厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/5a/>

日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センターホームページ

<https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/bbc/index.html>

【歯科口腔外科診療部長 今井 正之】

